

センシング技術応用セミナー

ヘルスセンシングとヘルスケアの最前線 ～アフターコロナのセンシングを展望する～



日時：2021年6月22日(火) 10:20～16:50

場所：オンライン開催

主催：センシング技術応用研究会

後援：(地独)大阪産業技術研究所

■新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Online開催に変更になりました。

参加のおすすめ

新型コロナウイルス感染症への理解はまだ十分でなく、またヘルスケアやヘルスセンシング、殺菌技術など、身体の健康を守るための様々な手段が求められています。本セミナーでは新型コロナウイルス感染症の検査技術、殺菌技術をはじめとして、呼吸や皮膚ガスによるヘルスセンシング、脳画像からの認知症・精神疾患の診断といったヘルスケアに関する技術をまとめて紹介します。

■参加費(テキスト代・消費税を含む)

主催・協賛団体会員：8,000円、一般：10,000円、学生：3,000円

*参加者のご氏名、ご所属、住所、電話、メールアドレス、web招待メールの送信先アドレス、[主催/協賛/一般/学生]をご記入の上、申し込み先にメールまたはFAXでお申し込み下さい。

協賛団体(予定)：(一社)大阪府技術協会、(一社)電子情報通信学会、(一社)次世代センサ協議会、(一社)日本機械学会、ニューセラミックス懇話会、(公社)応用物理学会、(一社)KEC関西電子工業振興センター、(一財)大阪科学技術センター、(一社)電気学会、(一社)日本鉄鋼協会、(一社)人工知能学会 他10学協会

※協賛団体の詳細につきましては、センシング技術応用研究会事務局にお問い合わせ下さい。

■定員(先着順)：100名(オンライン)

■申し込み締め切り：6月15日(火)

申し込み・問い合わせ先：センシング技術応用研究会

〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野2-7-1 大阪産業技術研究所 和泉センター内

TEL：0725-51-2534 FAX：0725-51-2597

E-mail：sstj@dantai.tri-osaka.jp URL：http://tri-osaka.jp/dantai/sstj/

※講演はすべてリアルタイムでOnline配信します。

【開会挨拶】 センシング技術応用研究会 会長 筒井 博司 氏 (10:20～10:25)

【講演】

1「生体ガス(呼吸や皮膚ガス)の高感度センシングとイメージング」 (10:30～11:50)
指定国立大学法人 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所
教授(医療工学領域 領域長) 三林 浩二 氏

新型コロナウイルス感染症の早期発見に探知犬が注目されています。本講演では、バイオと光技術を組み合わせた高感度なガスセンサ(糖尿病等の脂肪代謝でのアセトン計測)とイメージング装置(皮膚ガス成分の動画像化)を紹介します。

--- 昼休み --- (11:50～13:00)

2「最新の医療画像診断技術 - PETを用いた認知症・精神疾患の診断を中心に-」 (13:00～14:20)

近畿大学 生物理工学部 情報学研究所
教授 木村 裕一 氏

PETは放射性同位体で標識された薬剤を投与し、放射される γ 線を測定することで放射性薬剤の体内での分布を画像化する手法です。特に、脳での神経受容体やアミロイド β の濃度を画像として取得でき、また脳神経活動を糖代謝画像として撮像できることから、認知症や精神疾患の病態に迫る研究、或いは診断に使用されています。本講では、その概要について説明致します。

--- 休憩 --- (14:20～14:25)

3「新型コロナウイルス感染症の検査技術について」 (14:25～15:35)
株式会社島津製作所 基盤技術研究所 バイオインダストリーユニット
ユニット長 叶井 正樹 氏

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行により、感染症検査技術の重要性が改めて見直されています。PCRを始めとするウイルス感染症に関連する検査技術についてご紹介いたします。

4「新型コロナウイルスに有効な222nm-UVC殺菌等の人体に対する影響」 (15:40～16:50)
神戸大学大学院 医学研究科 内科系講座 皮膚科学分野
病院准教授 国定 充 氏

現在世界的な脅威となっている新型コロナウイルスに対して有効に失活させることが出来る222nm波長を出す殺菌等ランプが開発・販売されています。本講演ではそれらの皮膚や眼など人体に対する影響について解説致します。